

私たちが住み慣れた場所で孤立せず安心して暮らしていくために、地域でのたすけあいをすすめます。また、毎日の食の安全を手に入れるために、私たちを取り巻く身近な環境を知り、環境改善にむけた取り組みを考え伝えていきます。

まちづくり委員会内で毎月テーマを決めてミニ学習会を行い、生活クラブのまちづくり活動がSDGs達成に貢献できることを確認していきます。

1. 地域福祉

(1) たすけあい

①コミュニティ

- ・ どもちは新規コミュニティの立ち上げをすすめ、23区南全体で115コミュニティをめざします。
- ・ コミュニティリーダー連絡会を開催し、リーダーどうしの交流と情報交換の場とします。
- ・ 日常および災害時でのお互いにたすけあう関係性をつくるため、茶話会、エコロ学習会、消費材モニター、「回転備蓄消費材受取りと凶上訓練」などを行います。
- ・ 活動休止中のコミュニティへのはたらきかけを検討します。

②エコロたすけあい制度（以下エコロ）

- ・ 新規加入時に同時加入をすすめ、同時加入率は配送95%、デポー85%、全体で90%をめざします。
- ・ エッコロを広く知らせ、組合員どうしのたすけあいについて理解を深めるため、学習会を開催します。
- ・ 日ごろのケアがスムーズにすすむよう、コーディネーター連絡会やケア者研修・交流会を行います。
- ・ 子育ての孤立を防ぐためエコロ子育て応援セット Suku² 受領者へ電話かけを行い、困ったことの聞き取りや企画参加を促します。

③たすけあい委員会

- ・ コミュニティや地域のたすけあいをすすめるため、まちに位置づく「たすけあい委員会」の形成をめざします。できるまちから、たすけあい委員会の立ち上げをすすめます。

(2) 共済

- ・ 生活クラブ共済「ハグくみ」、CO・OP共済のよさを伝え、加入をすすめます。
- ・ 年間計画〈ハグくみ〉463件、〈たすけあい〉677件、〈あいぷらす〉74件達成をめざします。
- ・ ライフプラン講座を各まち1企画、23区南全体で12企画の開催をめざします。
- ・ 「くらしの見直し講演会」の開催をめざします。

(3) 地域機能

- ・ 子育て世代の居場所となるよう、まちの「子育てひろば」の新規立ち上げを応援します。
- ・ まち江戸川などの子育てひろばの活動を共有します。

2. 環境

1) 脱原発・再生可能エネルギーにシフト

- ・ 電気の共同購入推進のために学習会や交流会を行います。電気の共同購入は契約目標数（23区南180件）を各まちの組合員数で按分し、各まちが目標を持ってすすめます。
- ・ 脱原発に向けた運動を継続し、再生可能エネルギーへの関心をもつよう働きかけます。
- ・ 東京環境政策主催のでんきの連続講座への参加を呼びかけ、電気の共同購入への意識を高めます。

2) せっけん運動の推進

- ・ せっけん¹と合成洗剤の違いについて学習します。せっけんのよさ、使い方などをひろく知らせ、利用を高めます。
- ・ せっけん8品目²の利用人員率を四半期毎に前年度実績2%UPを目標とし、新規加入者に合成洗剤利用からの切り替えをすすめます。

*せっけん8品目：固型せっけん、粒状せっけん、無添加せっけん（針状）、洗濯用液体せっけん¹と空ボトル、詰替用洗濯用液体せっけん、キッチン用液体せっけん、キッチン用液体せっけん（詰替用）

固型せっけん（ケース）

- ・ 水環境を守る生活を考えるために東京環境政策委員会主催の企画への参加を呼びかけます。
- ・ シャボン玉月間首長メッセージ取得活動や自治体の公共施設でのせっけん利用の提案を生活クラブ運動グループ各地域協議会と協力して行います。
- ・ まちづくり委員会のもとに設置されたせっけんチームの活動を共有します。せっけんチームは、せっけんについて学習し組合員にわかりやすく伝える活動を行います。

3) ごみ問題、化学物質による環境汚染の解決にむけて

- ・ 環境負荷がかからない暮らし方をするためにグリーンシステム・カタログ類回収について委員会で学習し、リユース(R)びん・ピッキング(P)袋・カタログ類の返却を呼びかけます。年間で R びん回収率 60%、P 袋回収率 40%をめざします。23 区南独自でグリーンシステムキャンペーンを行います。
- ・ 生ごみ堆肥化資材アスカマン学習会を行い、利用促進に向け使用法を広く知らせていきます。
- ・ 化学物質による環境汚染について学習し、問題解決に向けた活動を検討していきます。
- ・ プラスチック廃棄による海洋汚染・大気汚染の理解、周知のため、まちづくり委員会のもとに置かれた「松葉で環境を考える会」の活動を共有します。

4) 生物多様性の確保

- ・ 遺伝子組み換え問題（ゲノム編集を含む）について学習する機会を持ちます。GMO フリーゾーンサポーター登録の活動を年間を通じて行います。
- ・ まちづくり委員会のもとに置かれたグリーン・グリーン・チームの活動を共有します。グリーン・グリーン・チームは生活クラブ館の緑化、維持管理を行います。

5) 調査活動

- ・ 都市近郊農家などの生きもの環境調査を行います。
- ・ 身近な地域の水辺の環境や河川などの水質を知るために、水辺の調査を各地域協議会で運動グループと協力して行います。
- ・ GM ナタネ自生調査活動を継続して行います。

3. 地域協議会、生活クラブ運動グループとの連携

- ・ 代理人運動やワーカーズ・コレクティブなど生活クラブ運動グループについて理解するため23区南主催の学習会に参加します。
- ・ 石けん運動や、調査活動などを地域協議会に提案し運動グループと連携して行います。